



# 日に新しくき眼もて



令和2年8月7日発行

## 一学期終業式

～ 校長先生のお話から ～

一学期始業式で、あいだみつをさんの「本気」という詩を紹介しながら、「こんなときだからこそ、本気を出して、一人一人、みんなで力を合わせて頑張って行こう」という話をさせていただきました。生徒のみなさんが、限られた環境の中で、それぞれに頑張っている姿が伝わってきて、素晴らしいと思います。

4月、5月は分散登校、6月から新しい生活様式による一斉登校で過ごした一学期でしたが、みなさんの本気で頑張る姿をたくさん見たり聞いたりすることができました。

例えば、4月、5月の臨時休業中は、課題として出された学習時間記録表を少しずつ毎日塗って行って結果を出せた人、ネットをあまり使わず我慢できた人、自分で卵焼きや野菜炒めなど朝ご飯を作れた人。家の畑仕事の手伝いで、リンゴの木の一輪摘果をした人などの姿をうかがっています。1日を自由に使えるとなると、どうしても怠け心からダラダラしがちだと思いますが、自分で進んで計画を実行したり、お手伝いをしたりすることができている姿は、見習いたいと思いました。

また、6月から一斉登校が始まりました。久しぶりの学校で、クラスみんなの顔を見て嬉しそうにしている姿が多く見られました。毎朝、健康チェックカードを学年の先生に見てもらい、「おはようございます」と自分から挨拶ができる人が多くいて、私も毎朝元気をもらいました。コロナの話題で少し気持ちが暗くなりがちなか中、挨拶をしっかりとできることって、何気に素晴らしいことだと思いませんか。

また、学級や学年での歌練習も、感染防止に注意をしながら、朝、放課後に美しい声が学校中に響いています。生活記録に「学芸委員のリードで、校歌の合唱練習が始まりました。ピアノ伴奏や、手拍子、延長コードを使っのラジカセなど、パートごとに工夫した練習です。マスク越しですが、力強い歌声が響きました。」と振り返っている姿もうかがっています。

そして、清掃です。黙想から15分間、黙々と集中して行う清掃する姿が、全校でしっかりとできてきています。

このような三本柱をはじめ、コロナ禍の中でも、本気を出して、みんなで力を合わせて頑張っている姿が随所に見られて、とても嬉しく思いますし、本年度も小布施中の伝統である、先輩が後輩を育む気風の生徒会活動が、着実になされているなど感じています。

その他、勉強や部活動など、それぞれ頑張っている姿がたくさんあったと思います。今まで経験したことのない厳しい環境の中で、一人一人、また、みんなで力を合わせて、頑張った1学期でした。よく頑張りました。このことをお互いに拍手で讃え合いたいと思います。＜拍手＞

さて、明日から夏休みです。今年は夏休みが10日しかありませんが、いつも以上に1日1日を充実したものにできるように、計画的に生活をして欲しいと思います。また、健康に気をつけて、コロナウイルスを必要以上に恐れることはありませんが、これまでどおり、手洗い、咳エチケット、ソーシャルディスタンス、換気などを意識して、安全な生活も心がけて欲しいと思いますそして、8月18日、みんなで元気に二学期をスタートできることを期待しています。共に頑張りましょう。

## 「**光輝**」(かがやき) 令和2年度 鳳凰祭スローガン決まる!!



放送による全校集会で総務役員からスローガンが発表されました。「一人一人が輝(かがや)ける鳳凰祭にしたい」「学校再開後、楽しみにしていたみんなと活動できる瞬間を大切にしたい」「休校になったことで、学校生活で、好きなことができるのは当たり前じゃないことなんだ」「学校の友達だけでなく、地域の方々や、先生たちや、すべてに感謝し、自分たちの青春の1ページとして大切にしたい」という願いが、このスローガンやサブテーマに込められています。

鳳凰祭は、普段の学習成果の発表、クラスで取り組んできた成果の発表、日頃の練習成果の発表に重点をおいています。ですから、「発表のための発表」ではなく、「普段の姿の発表」であり、まさに「日頃の生活が問われる文化祭」となります。だからこそ、生徒たちの願いの中に「マナーやあいさつなどが輝(かがや)く小布中らしい鳳凰祭」という言葉が出てくるのだらうと思います。日頃の生活の向上に力を入れ、素晴らしい“普段の姿の発表”を見せられるよう頑張っていって欲しいと期待しています。